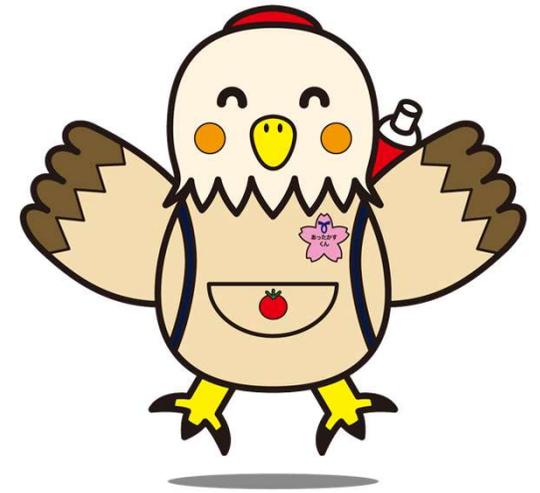


鷹栖市街地エリアの魅力づくりに向けて



鷹 栖 町



事業がスタートするまでのこれまでの経過

(町民の皆さんに参画いただき..)



令和2(2020)年度から
新たな10年間の
まちづくりがスタート

第8次 鷹栖町総合振興計画

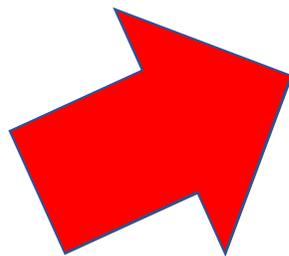
— 笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす —

第8次鷹栖町総合振興計画
2020年3月発行
鷹栖町総務課

2020-2029



「この鷹栖、このまちが好き!」 鷹栖町子ども
町民50周年記念 鷹栖町総合振興計画イメージ作成グループ



10年間で特に「重点」とする取り組みに位置づけ

分野横断的に取り組む重点施策

4 市街地エリアの魅力づくり

まちの中心部である鷹栖市街地の賑わいの創出と地域交流の活性化を図り、定住人口を呼び込むことで、子どもから子育て世代、高齢者まで、全世代が生きがいをもって安心して暮らせる町を持続的に実現することを目指します。

◆取り組み方針

- 子どもに関する視点をキーワードとして、多世代の交流促進や様々な領域の施策を一体的に進めることで、あらゆる世代が安心して過ごせる住民満足度の高い市街地を形成します。
- ・年少人口を呼び込むため、子育て世代のニーズに沿った住宅環境の充実を図ります。
- ・中心商店街ににぎわいを生む、起業や空き店舗活用などの取り組みを支援します。
- ・公民館事業やサロン活動、施設の活用などを通して、多世代交流を促進するエリアづくりを進めます。
- ・高齢になっても希望を持って住み続けられる市街地を形成します。

	指標	現況	目標値
関連指標 と 目標値	鷹栖市街地の年少人口の割合	12.5%	11.0%
	鷹栖市街地での起業実績	—	3件
	鷹栖町に住み続けたい人の割合	82.0%	↗

鷹栖市街地の未来を考えるワークショップ

- 事前勉強会 令和2年10月23日（金） 18：30～20：00
住民23名 職員13名 参加
- 第1回WS 令和2年10月30日（金） 住民 21名参加
職員 14名参加
「市街地の将来像を考える」
- 第2回WS 令和2年11月11日（水） 住民 22名参加
20日（金） 職員 12名参加
「将来像を具体化しよう」
- 第3回WS 令和2年12月 2日（水） 住民 15名参加
7日（月） 職員 14名参加
「実現方策を具体化しよう」
- 第4回WS 令和3年 1月 6日（水） 職員 15名参加
（職員のみ） 「まとめ」



1. 各チームの将来像のまとめ

【みんな顔見知りでつながり世代や時間を超えた“お互い様”のあるまち】

- 子どもから高齢者、障がい者と動物がごちゃ混ぜで、車がなくても交流や安心した生活、役割をもって活動ができる鷹栖市街地
- いつでも気軽に立ち寄って顔見知りになれる空間がある鷹栖市街地
- 誰もがつながり、安心してくつろげる、寄り道できるような街
- ご近所づきあいや、誰もが気軽に相談できる街
- 多くの人それぞれ何か持ち寄って楽しい時間を過ごすことができる鷹栖市街地
- いろいろな人が集まりたくなる場がある鷹栖市街地
- 世代や時間を超えた“お互いさま”のある街
- 季節を問わずスポーツや交流ができる街
- 誰もが集まり、活躍する市街地

【車が無くても歩いて安心して楽しい生活ができるまち】

- 子どもから高齢者、障がい者と動物がごちゃ混ぜで、車がなくても交流や安心した生活、役割をもって活動ができる鷹栖市街地（再掲）
- 外で歩くのが楽しい鷹栖市街地（徒歩で色々なお店や交流スペースに行くことができる鷹栖市街地）
- 老若男女いろいろな人たちがたくさん往来する、活気ある鷹栖市街
- 高齢者（運転できない人）が買い物できる鷹栖市街地
- 歩いて楽しい鷹栖市街地
- 市街地のにぎわいがあり、地元野菜や食材を利用した市場や飲食ができる街誰もがチャレンジできる街
- 放課後に学生（小中高）が出歩いている鷹栖市街地

【自分の役割、活躍、生きがいがあり健康で自立的な生活ができるまち】

- 自分の役割を持ち、暮らす人々が輝くことのできる鷹栖市街地
- 全世代が習い事・学びに気楽に参加できる鷹栖市街地
- 誰もが活躍できる鷹栖市街地
- 多くの町民が健康で自立して暮らせる鷹栖市街地
- いろいろな目的を持った人が、ワクワクしながら、プチチャレンジできる鷹栖市街地

【“子育てするなら鷹栖町”と言われるまち】

- 最高の子育て環境がある鷹栖市街地
- 充実した教育環境がある鷹栖市街地
- 子育て世代が安心して暮らせ、リフレッシュできる鷹栖市街地
- 若者が自由に未来を語れる 鷹栖市街地
- 若者が未来に希望を抱けるまち

【人口減少に負けないコンパクトな田園都市】

- 人口減少に適応し市街地機能を持続する
- ほとんどのことが市街地内で完結する複合施設を中心としたコンパクトな街
- ICTやIOTを最大限に活用した鷹栖市街地

【誇りのあるまち】

- なければつくる 誇りある鷹栖町
- 住民みんなで作る統一感の取れたキレイな鷹栖市街地
- 市街地のにぎわいがあり、地元野菜や食材を利用した市場や飲食ができる街誰もがチャレンジできる街（再掲）
- 旭川市に行かずに食品や日用品が買い揃えられる鷹栖市街地

2. 鷹栖市街地の課題

【生活利便性のパラダイムシフト】

- ・ 高齢者などの徒歩生活者の生活交通の充実
- ・ ICT、IOTなどのイノベーションの活用(買い物利便性の向上)

【つながりを生かした鷹栖ライフ】

- ・ 助け合い機能のあるつながりの維持(高齢者・子育て世代)
- ・ コーディネーター(おせっかいおばさんのシステム化、ちよこっと仕事、移住、起業チャレンジ)
- ・ 教育環境でたかすを伸ばす(たかすの子はたかすみんなで育む)
- ・ 生きがい、役割による健康寿命の増進、医療費負担の低減
- ・ 働き方改革(子育て世代のゆったり仕事など)

【強みの発掘・活用】

- ・ 危機感・価値観の共有(このままだとどうなるの、目の前の当たり前前価値に気づく)
- ・ 地域資源の見える化、活用(人、活動団体、農業、田園風景など)
- ・ 地域情報の収集+町内外への発信(空き家、人材、雇用など)
- ・ 地産地消(農産物など)

【新たなエリアマネジメント】

- ・ 地域活動の活性化、住民主体の地域運営(企画力・地域ニーズとのマッチング)
- ・ 住民ニーズの反映(潜在的なニーズの掘り起こし)
- ・ 多世代交流の場・機会の創出
- ・ 居場所・役割づくり
- ・ 施設(公共)の集約化、用途の複合化
- ・ 施設の企画・運用の見直し
- ・ 気軽にチャレンジできる機会づくり

【魅力ある商業】

- ・ 商業施設の集約化
- ・ 魅力的な店舗を増やす
- ・ にぎわいの創出(街並み、外部空間、歩きたくなる)

3. 鷹栖町市街地の課題の実現方策のまとめ

A 【住み続けられるコンパクト田園都市プロジェクト】

- **複合拠点**整備（住宅機能+居場所機能）
 - ・ **住宅**：高齢者住宅、介護施設、若年・子育て向け、ごちゃまぜ
 - ・ 居場所：図書館+カフェ、仕事もできるラウンジ、たまり場、子どもの見守りの場、フリーに楽しめる場
- 車の無い人向けの**サポート交通**の社会実験（負担金、担い手、利便性向上） ⇒ [NPO法人によるサポート交通の実施](#)
- **農業の強みを活かす**
 - ・ 家庭菜園の農業指導と支援の仕組みづくり(→定住人口増)
 - ・ **地元野菜**を地元居酒屋等が使える仕組みづくり、ファームレストラン

B 【住民主体の新たな地域運営プロジェクト】

- **コーディネータ**の公募・育成、まちづくり組織の立ち上げ ⇒ [地域運営組織の確立](#)
- 住民ニーズとサービス提供者の**マッチング**の仕組みづくり
- 地域情報の収集・発信
- ちょっと仕事システムの構築（農業も）
- 空き地・**空き家**・空き店舗の活用
- **公共施設**が魅力のある場としてもっと使われる運営方法（遊休スペースの有効活用外部委託・指定管理の改革、利用方法の見直し、意識改革、柔軟な運営）
⇒ [地域運営組織による住民センターの利用促進](#)

C 【商業の魅力アッププロジェクト】

- 歩きたくなるまちづくり
 - ・ベンチなど市街地を**歩いて楽しむ**仕掛け（食べ歩き）
 - ・歩行者天国の社会実験
- 魅力ある企業支援
 - ・事業立ち上げサポート体制の構築、**チャレンジショップ**

D 【どこにも負けない子育て環境プロジェクト】

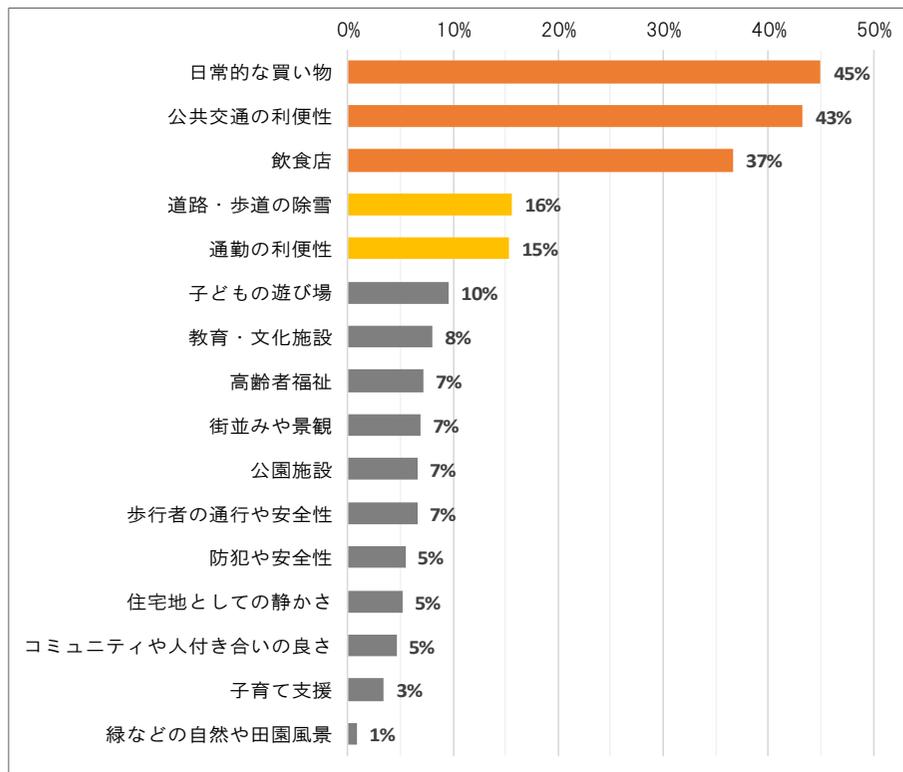
- 子どもが安心して居られるように、公共施設の部屋を行政に頼らず住民団体に借上げ常時開放
⇒ [地域運営組織による実施](#)
- 町内企業での**職業体験**
- 発想の転換による鷹栖子育てライフ支援
 - ・鷹栖ならではの**働き方改革**(休暇に対する事業者補助など)
 - ・子育て支援の仕組み（パパ向け育児講座、育児サポート体制づくりなど）
 - ・**子ども食堂**の実施 ⇒ [まちLaboにおいて実施](#)

F 【地域資源発掘プロジェクト】

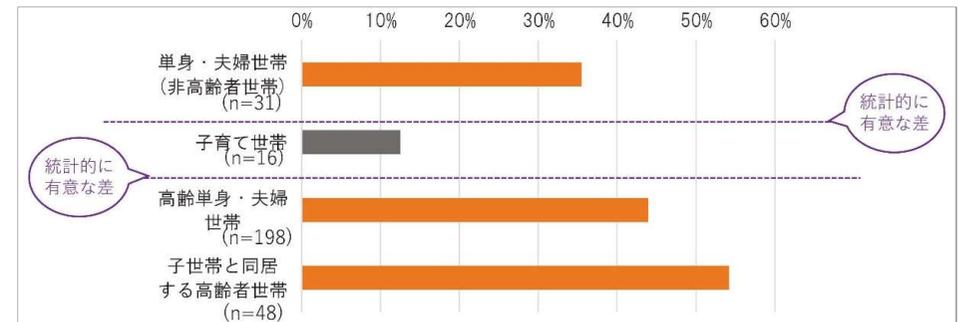
- ・ **郷土愛**を育む学校・生涯教育 ⇒ [ふるさと共育の実施](#)
- ・鷹栖市街地の**将来像**の見える化
- ・お金以外の地域資源・地域価値の発掘・見える化

アンケート調査

生活利便性に関するアンケート(R3住生活基本計画策定時アンケート)



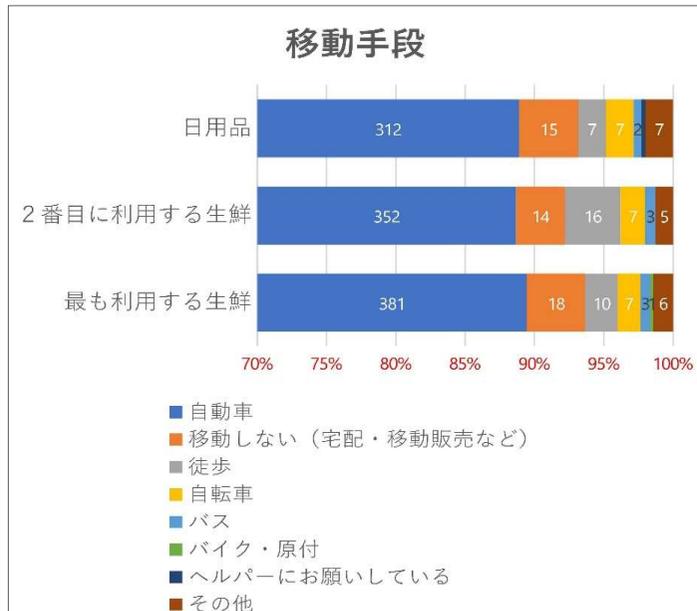
住民が不満に思っていること



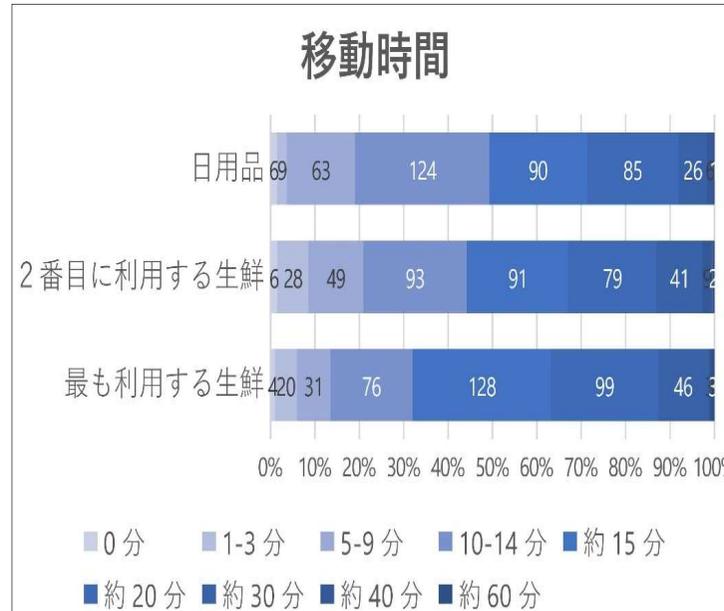
世帯特性ごとの日常的な買い物に対する不満割合

アンケート調査

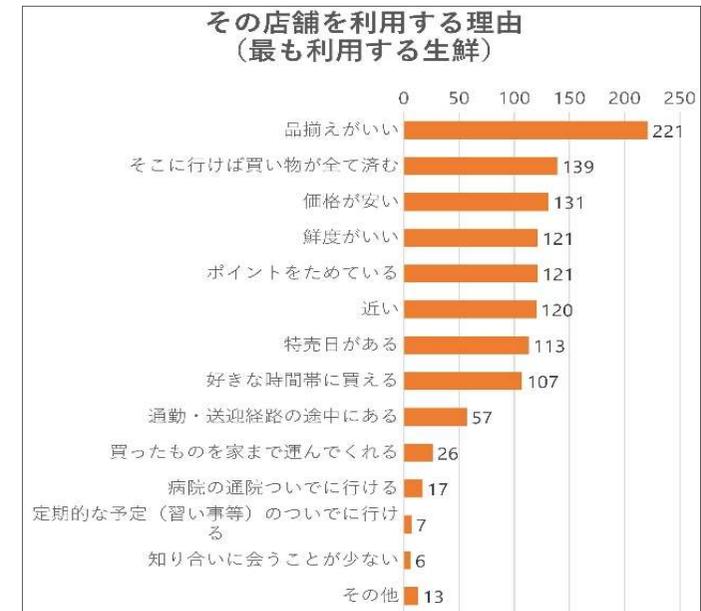
鷹栖市街地活性化に関するアンケート(R4)



買い物に行く移動手段



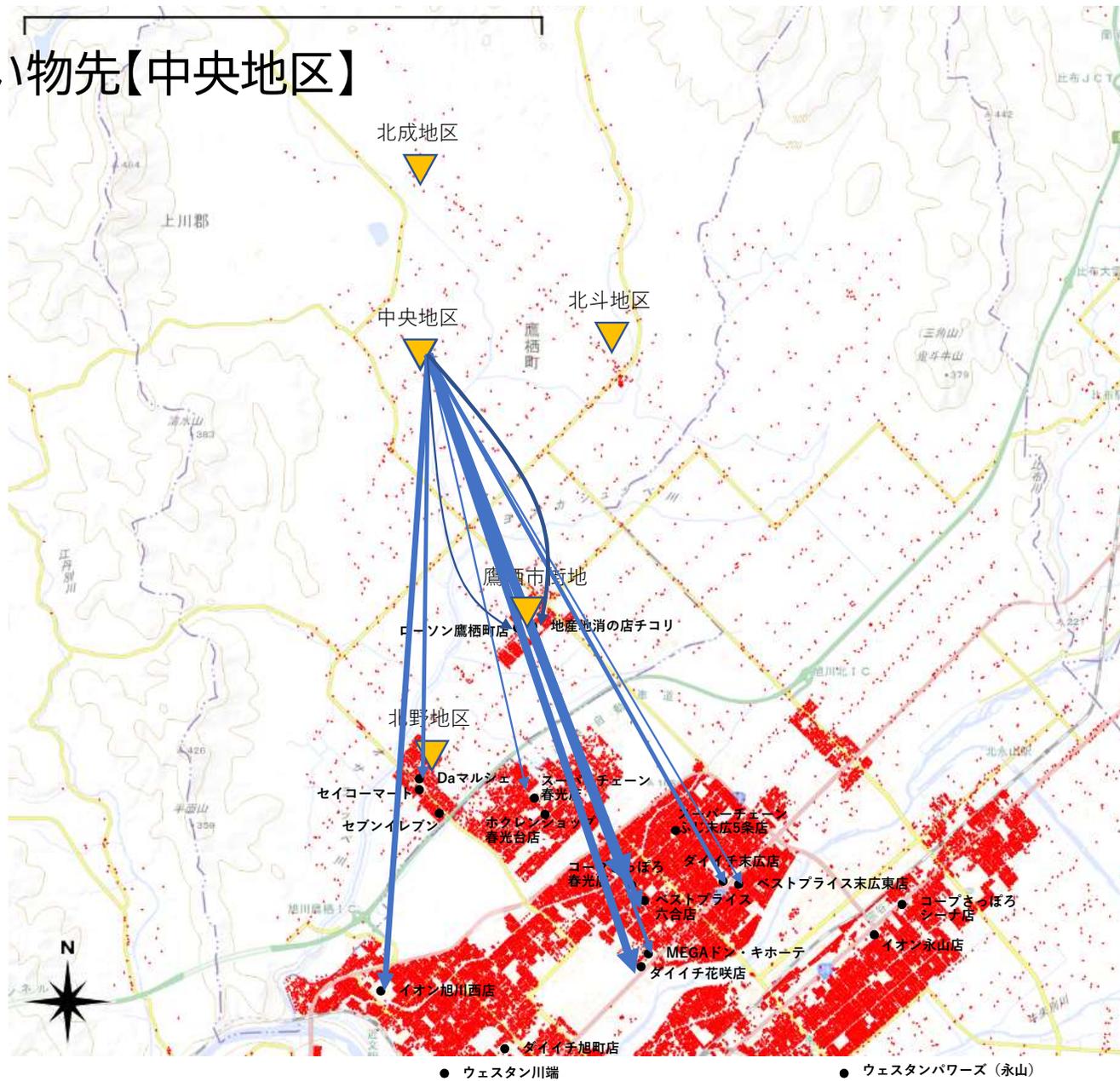
買い物に行く移動時間



生鮮食料品を買い物する店舗を利用する理由

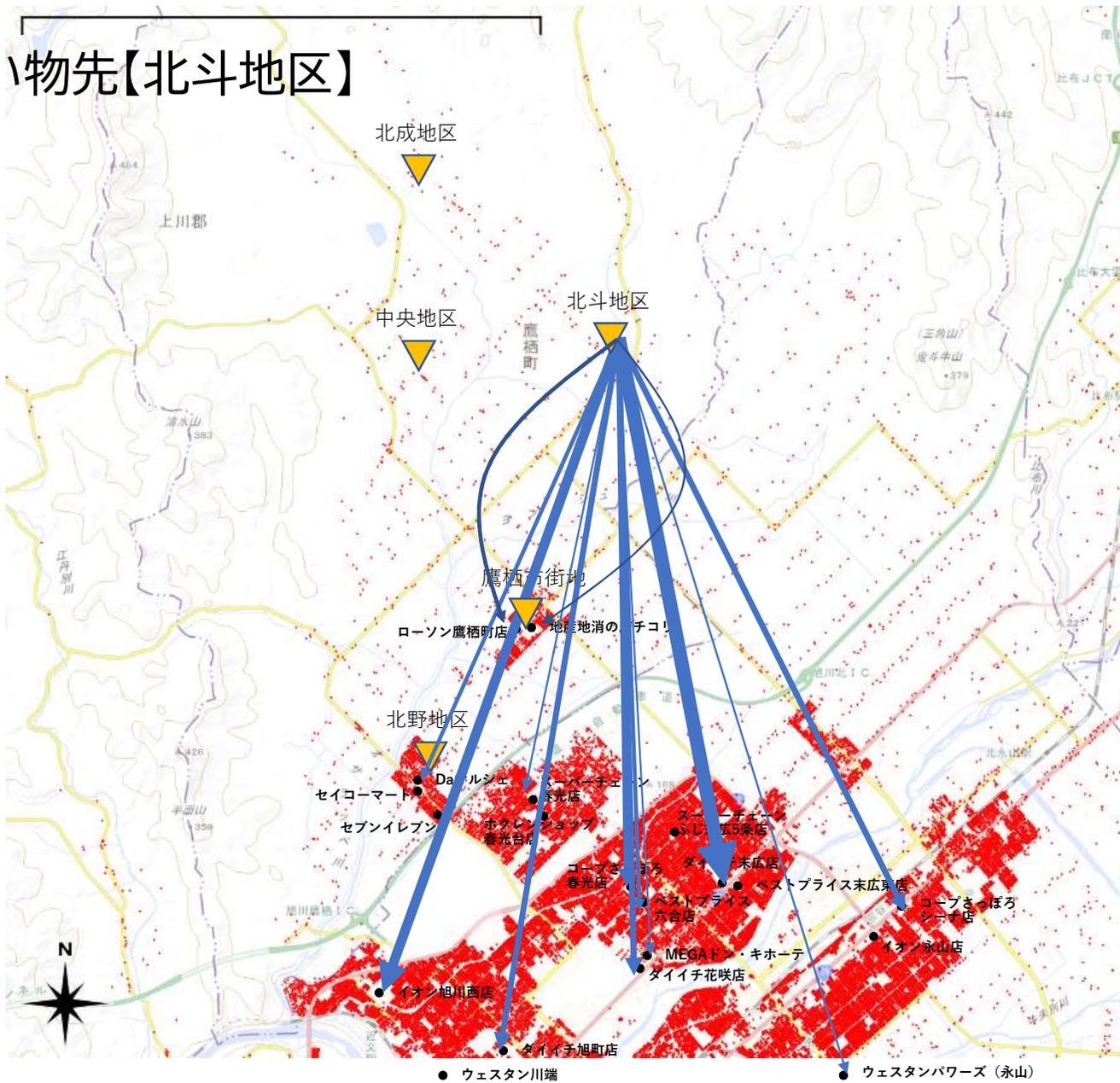
各地域からの買い物先【中央地区】

矢印の太さで
人数を表示
1人 →
5人 →



各地域からの買い物先【北斗地区】

矢印の太さで
人数を表示
1人 →
5人 →



みんなで作る鷹栖市街地未来ビジョン

みんなで作る鷹栖市街地未来ビジョン

令和5年3月
鷹栖町

これまでのワークショップでのご意見・アイデア、アンケート調査などをもとに令和4年度末に「みんなで作る鷹栖市街地未来ビジョン」を策定しました。

鷹栖市街地エリアの魅力づくりに向け、目指すべく目標を定め、今後の方針を整理しました。

町ホームページにて公開・意見募集(パブリックコメント)をしています！
(8月上旬〆切)

市街地の課題

- ◆日常的な買い物の場所
- ◆空き家、空き店舗の増加
- ◆徒歩生活者の生活交通
- ◆住民主体の地域運営体制づくり

住民ニーズ

- ◆歩いて暮らせる、歩いて楽しい市街地
- ◆気軽にチャレンジできる環境
- ◆気軽にに行ける場所、居場所づくり
- ◆学びの機会創出



基本方針

■みんなでまちの運営をしてよりよいまちへ
 ■色々なことにチャレンジしてまちをごちゃませに

■まちの居場所づくり・居場所までの道づくり
 ■鷹栖の強みを活かしたまちづくり

課題解決に向けた方策

地域運営の基盤づくり

みんなの手による未来づくりを実現するため、既存組織等を軸とした地域運営の基盤づくりの検討を進めるとともに、まちづくりのプレイヤーとなる人材やグループの育成、発掘を行うための取り組みや支援の検討を進めます。

公共施設等の活用

公共施設の空きスペースやまちなかの空き家、空き地、街路、公園などの空間を有効活用し、町民の居場所や拠点づくり、まちなかの賑わいにつながる取り組みを検討します。

中心エリアの整備

拠点整備を起点にまちを活性化していくモデル事業として、住宅、買い物、居場所など市街地に真に必要な機能を有した街区の整備を検討します。

具体的な取組・必要な機能

- ◆「ふらっと」の施設管理、事業運営を担う組織による地域運営の基盤づくり
- ◆まちLabo等によるまちづくり人材・担い手の育成

- ◆町民の居場所・拠点づくり
- ◆慶應義塾大学SFC研究所と連携した市街地の活性化
- ◆空き家等の有効活用
- ◆商業事業者と連携したイベント等の開催による賑わいづくり

- ◆住宅（高齢者・一般）
- ◆買い物
- ◆チャレンジショップ
- ◆直売所
- ◆子育て支援 など

関連施設

- 「ふらっと」

- 「ふらっと」
- サンホールはびねす
- プラザ・クロス10
- 移住体験住宅 など

- 空き家
- 空き地、空きスペース

必要な機能

- ・行政、公共施設
- ・福祉、介護、医療
- ・商業
- ・住まい
- ・教育
- ・子育て支援
- ・生涯学習、歴史、文化、芸術等
- ・スポーツ、健康づくり
- ・街路、公園



必要な機能を重点的に整備

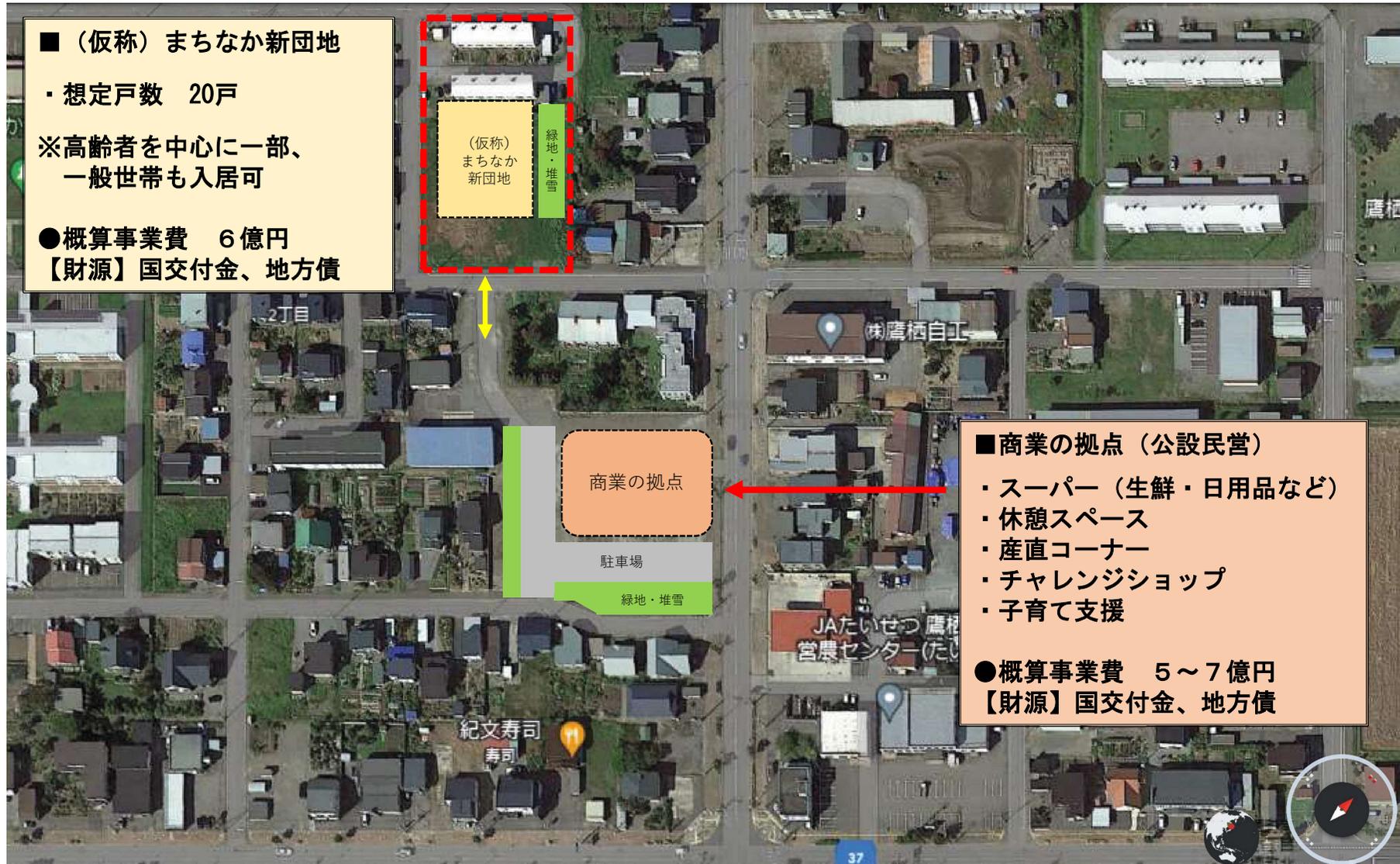
計画概要図



計画概要図



中心エリアの整備 概略プラン(案)



中心エリアの整備 スケジュール表(案)

内容	令和5年度									令和6年度									令和7年度									令和8年度				
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	1
商業の拠点	買い物事業者と折衝																															
住民説明等	住民説明等	※必要に応じて随時								→																						
設計										設計																						
建設工事																			建設工事													
(仮称) まちなか新団地																																
住民説明等	住民説明等	※必要に応じて随時								→																						
設計																			設計													
建設工事																												建設工事				